

地産地消だより

ちさん ちしょう だより

第13回「地産地消まつり」開催します!

新鮮な野菜や、会津の美味しいもののほか、地産地消等について学べるコーナーなども充実しています。

今年は友好都市の神奈川県横須賀市と、姉妹都市の青森県むつ市も参加します☆

皆さんでぜひお越しください♪ 市のホームページもご覧ください



■日時:11月5日(土)・6日(日)10:00~15:00
■場所:鶴ヶ城体育館

直売・展示コーナー

直売コーナー

新鮮な地元農産物を集めた直売コーナーです。米、野菜はもちろん、加工品なども出品されます。

⇒お米や野菜、リンゴ等の果物や、ジュース、ハキミツ、お菓子の他、横須賀市のみかんや海産物も!

展示コーナー

地産地消をはじめ、市の様々な農業に関する情報を展示しています。新たな発見があるかも?

市内の幼稚園や保育園の子どもたちのイラスト作品やおたねくんクイズコーナー、城南小学校の児童による会津みしらず林についての展示など



横須賀市イメージキャラクター スカリン

この他にも色々なコーナーがあるよ! 来場者アンケートに回答すると抽選で地産地消商品をプレゼント☆ エコバックをご持参下さい。



地産地消くん

屋外飲食コーナー

飲食コーナー

地元産の食材を使った飲食店が並びます。美味しい会津の「食」をお楽しみください。

⇒ラーメン、お蕎麦、おもち、お弁当やスイーツも! 今年は、むつ市が初参加! ご当地からあげとコロッケを販売します♪



むつ市PRキャラクター ムッシュ・ムキュランI世 (承認第20220332号)

新型コロナウイルス感染対策等のお願い

会場では感染防止対策を徹底しております。安心してご来場ください。ご来場の際は、「マスクの正しい着用」「手洗や手指消毒の徹底」「密集回避」「大声を出さない」等のご協力をお願いします。また、37.5℃以上の発熱やのどの痛み等の体調不良がある場合は、ご来場をご遠慮ください。なお、感染状況により、まつりの内容が変更・中止になる場合があります。

「地産地消」知っているつもりになっていない?

地産地消とは、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味で使われています。

市民の皆さんが、会津で生産された農産物を買って食べようとする活動を通じて、生産者と消費者を結び付け、お互いに『顔が見え、話ができる』関係になり、会津地域の農業と関連産業の活性化を図ることができる取組が地産地消なのです。



SDGsにも貢献

フードマイレージ

生産地から消費者までの距離が短ければ短いほど環境への負担が少なくなります。
(輸送にトラック、船、飛行機などが使われ、距離が長いほどCO2が排出されるため)

エネルギーも地産地消

新電力や再生可能エネルギーを地域で生産し、消費しようという取組も増えてきています。
(風力、地熱、木質バイオマスガス、ゴミ焼却時の余剰エネルギーなど)

みなさんも地産地消運動に参加しませんか?

消費者(食べる人)

「地産地消サポートクラブ」へ入会しませんか?

会津の農業や食べ物に興味をお持ちの方ならどなたでも大歓迎!

販売者(売る人)

「地産地消協力店」へ登録しませんか?

地元産農産物を積極的に利用している飲食店・販売店の登録をお待ちしています。

生産者(作る人)

「地産地消協力農業者」へ登録しませんか?

安全・安心な農産物の生産に取り組む農業者の方の登録をお待ちしています。

♪登録は、所定の様式に記入して農政課に提出すれば完了です! 様式は農政課または、市のホームページからダウンロードすることができます。

地産地消推進ホームページ

会津若松市地産地消

検索

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007081000057>

各種お申込みお問い合わせ

会津若松市 農政課 農業活性化グループ
〒969-3481 会津若松市河東町郡山字休ミ石14番地
TEL/0242-23-9973 FAX/0242-36-7142
Mail:nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp



メールアドレス

「サポートクラブキャンペーン」活動報告

令和3年度にサポートクラブキャンペーンに応募いただいた活動事例をご紹介します。

このほかにも、直売所やマルシェでお買い物をしたり、地産地消協力店や「あいつ食の陣」参加店で地産地消メニューを食べることも活動の1つです。

買った場所や食べたメニューの写真を撮って、是非、ご応募ください！

我が家の地産地消

Mさんは、お子さんが大好きな空心菜を家庭菜園で作っており、お気に入りのぞうさんじょうろでお水をあげているそうです。



一昨年はじゃがいもの芽を野生動物に抜かれて全滅だったというHさん。昨年は様々な対策をして、無事に収穫を喜んだそうです。

自慢の地産地消メニュー

農家の方にたくさんキュウリをいただいたTさん。アボカドやたらこなどを使ったソースを作り、一緒に食べたら、止まらない美味しさだったそうです。



令和4年度第1回米粉料理教室

家庭での会津若松市産コシヒカリ米粉の普及と利用促進のため、7月23日に台湾キッチン會津ウルトラの小汲 律さんを講師に迎え、米粉料理教室を開催しました。メニューは台湾風大根餅と揚げバナナです！

大量の大根をおろすのは大変でしたが、協力しながら完成させることができました！



余った大根の皮と揚げバナナの衣で「きんぴら」と「お好み焼き」を作り、フードロス削減です。



お子さんでも美味しく食べられるメニューです。レシピはホームページに掲載していますので、是非作ってみてください！



市ホームページ

もっちり しっとり さっくりの食感が人気の米粉は、小麦アレルギーの方も安心です。



地産地消の活動を実践してプレゼントに応募しよう！

地産地消サポートクラブキャンペーン

実施中！

下記の応募部門の中から、各部門に合った地産地消の活動を実践し、活動風景などを写真に撮ってご応募ください。

抽選で5,000円相当の地産地消商品つめ合わせを20名様にプレゼント！

消印有効

応募期間：令和4年10月3日(月)～11月30日(水)

会員登録はこちらから



簡単申請登録ページ

市のホームページ



応募要件

- ・1部門につき1件
- ・複数部門への応募OK
- ・サポートクラブ会員のみ
- *応募と同時に会員登録することもできます！

部門1

我が家の地産地消

例) 自宅で野菜を栽培する、親子で一緒に地元産農産物を使って料理をするなどの活動

部門2

自慢の地産地消メニュー

例) 地産地消を意識した新メニューや、普段から作っている地産地消メニューの紹介など

部門3

お店で味わう地産地消

例) 地産地消協力店や「あいつ食の陣」参加店舗で地産地消メニューを積極的に食べるなど

部門4

地産地消川柳

例) 地産地消がテーマ。地元産の農産物を食べた感想や地産地消への思いなどなんでもOK

部門5

その他

例) 地元産農産物を使った食育活動や、市内で開設されている直売所で地元産農産物を購入するなど

※地産地消協力店や「あいつ食の陣」参加店舗は市HPに掲載しています。

応募方法

郵送の場合：所定の応募用紙に活動内容を記入し、写真を裏面に貼り付けてください(部門4は写真不要)
応募用紙は市のホームページからダウンロードすることができます。
メールの場合：写真を添付のうえ、本文に、1.氏名 2.住所 3.電話番号 4.会員番号 5.応募部門 6.写真の状況についての具体的な説明 の6点を必ず記入し、お送りください。

応募先 問合せ先

〒969-3481 会津若松市河東町郡山字休ミ石14番地
Tel:0242-23-9973
会津若松市農政課「地産地消サポートクラブキャンペーン」係
Mail:nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp



メールアドレス

注意事項

- ・応募用紙は返却いたしません。
- ・応募いただいた内容は、地産地消だよりなどで紹介させていただく場合があります。(事前にご相談いたします)
- ・当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。